

様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）

令和 7年 6月 19日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	○
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	

2. 依頼者（企業）の概要

企業名	シャープ株式会社	
担当者所属	TVシステム事業本部 ソフト開発部	
担当者名	岳野壮一郎	
担当者連絡先	住所	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目9番2号
	電話	050-5434-0491
	電子メールアドレス	takeno.sohichiroh@mail.sharp
主たる業種	電気通信機器・電気機器及び電子応用機器全般並びに電子部品の製造・販売等	
主要な製品	AV機器、空調家電、キッチン家電、生活家電、ヘルスケア・美容家電、スマートフォン・電話機、情報機器、ロボット、エネルギーシステム、生活用品、サービス	
希望する施設等の種類や職種等	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input checked="" type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input checked="" type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
希望施設に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください 複数選択可		
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作介護機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）	AI介護機能訓練トレーナー	
試作介護機器の有無及び機器のコンセプト（試作介護機器があれば <u>写真を添付</u> ）	試作介護機器の有無	1. <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 2. <input type="radio"/> 無
	機器の目的及び特徴	<ul style="list-style-type: none">生成AIを活用した独自の自然な会話ができる会話エンジンを搭載し、過去の履歴や施設情報なども学習し高齢者のひとりひとりに寄り添うカメラを用いた画像分析による高度な姿勢測定・解析を備え、生成AIを活用した歩行評価や姿勢計測のアセスメント支援が可能

	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の監修のもと高齢者ひとりずつのデータ、LIFE、アセスメント結果のデータを生成AIを活用・分析し訓練計画を自動作成し介護ソフトと連携 ・運動実施時にカメラを用いた姿勢分析をリアルタイムに行い、運動結果の分析やひとそれぞれの運動アドバイスをを行うことが可能 ・テレビ開発で培った大画面を活かした技術を活かし、既製品をベースとしたソフトサービスで実現し、汎用性も高く、導入コストを抑えたサービス
<p>想定する使用者及び使用方法、使用場面</p>	<p>① 想定する使用者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練を行う被介護者と、計画作成と監督を行う介護者 <p>② 想定する使用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練計画作成 ・機能訓練補助と結果の記録 ・運動機能測定、分析 <p>③ 想定する使用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設で要介護者からAIとの会話を通じてADL目標などを聞き取り、運動機能をもとに個別機能訓練計画書を自動で作成する ・テレビにお手本動画を表示し機能訓練を実施する ・機能訓練の結果から実施記録を作成する ・定期的に運動機能評価を行う
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	<p>現在はエクササイズや介護予防を目的に開発を行っている。 機能訓練向けのカスタマイズを考えているが、介護の現場でどのようなことが求められているのかを確認したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに導入している介護テクノロジーと、それらを利用する中での課題 ・機能訓練計画書作成のために、一番大事にしていることは何か？ その中でサポートが必要なところはどこか ・機能訓練はどのように行っているか (介護者の資格、頻度、1対1、1対多、モニターの使用の有無、バリエーション、スペース、時間、記録方法など) ・機能訓練の記録はどのような精度が求められているか (個別機能訓練加算などに必要な精度) ・LIFEからのフィードバックをどのように機能訓練計画に役立てているか ・要介護者の運動機能評価にはどの手法を利用しているか
<p>現在の開発状況と主な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場で実際に必要とされている内容を確認したうえで、開発項目を決める必要がある ・施設ごとの求められる内容を確認して、カバーできる範囲を増やしたい ・求められる安全基準を確認したい
<p>その他</p>	

■試作機の画面

カウンセリング



エクササイズコース決定



エクササイズ



<https://blog.jp.sharp/2024/12/25/48937/>

会社概要

社名	シャープ株式会社 (Sharp Corporation)
本社所在地	〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地 本社・堺事業所アクセスマップ >
電話番号	072-282-1221(大代)
代表者	代表取締役 副会長執行役員 呉 柏 勲 代表取締役 社長執行役員 CEO 沖津 雅浩
事業内容	電気通信機器・電気機器及び電子応用機器全般並びに電子部品の製造・販売等 事業内容 >
創業	1912(大正元)年 創業者・早川徳次(当時18歳)が徳尾錠(ベルトのバックル)の発明で特許を取り、東京本所松井町で金属加工業を創業(9月15日)。 シャープのあゆみ(社史) >
社名の由来	1915(大正 4)年 金属文具の製作技術の研究改良を進め、金属製の繰り出し鉛筆を発明。さらに改良を重ね、1916(大正 5)年 エバー・レディー・シャープ・ペンシルと名づけて一世を風靡、これが現在の社名および商標である“シャープ”の由来となった。
設立	1935(昭和10)年5月 資本金30万円をもって株式会社組織に改め、株式会社早川金属工業研究所を設立。
資本金	50億円 (2025年3月末現在)
売上高	2兆1,601億4,600万円 (連結) 5,397億2,200万円 (単独) (2025年3月期)
社員数	シャープ連結 : 40,123名 国内連結 : 15,761名 (シャープ(株)単体 5,636名、関係会社 10,125名) 海外関係会社(連結) : 24,362名 (2025年3月末現在)

<https://corporate.jp.sharp/info/outline/>